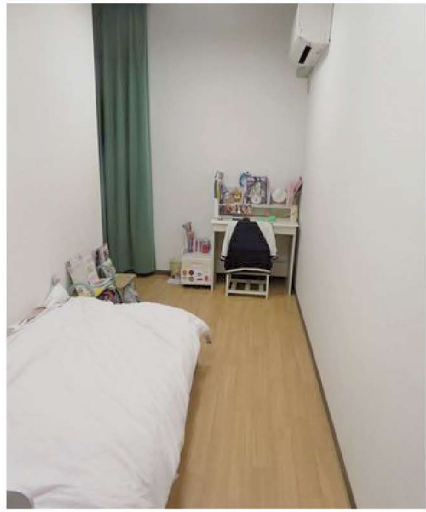


# わかば館の居室の多くを個室に 子どもの生活にゆとり



児童心理治療施設わかば館は平成十五年に開設されて以来、十七年になります。あさぎ(女子ホーム)ともえぎ(男子ホーム)は定員三十五人で両ホームとも一人部屋が二室、二人部屋が四室、四人部屋が二室の八LDK+aでスタートしました。他兄との関わりが難しい子が多いため、平成二十六年に一回目のリフォームを実施しました。ケア単位を小さくして四人部屋をそれぞれ半分ずつ区切り、二人部屋を四室とし、一人部屋が一室、二人部屋が八室の一〇LDK+aとしました。次にリフォームを考えたのは、平成三十年度です。国は、児童養護施設の小規模化の推進を求めており、あおば館は順次進めています。一方、児童心理治療施設に対しては、施設の小規模化を具体的に明示していません。わかば館を小規模化して定員を減らすことはできません。リフォームの時期を迎え、施設を小規模化し定員を減らすことはできないまでも、個室を増やしたいと考え、あさぎ・もえぎの子どもは、あさぎ・もえぎの子どもはそれぞれ宿泊(退所支援施設「のぞみ」と「心理治療棟」の心理治療室・音楽療法室・家族療法室に分かれて生活しました。「のぞみ」での生活は、これから求められる形態(分園型の地域小規模児童心理治療施設)が体験でき、大きな収穫となったと思います。その代り職員は、三人の宿直体制を敷き、手厚くケアできる万全な体制で臨んだので大変だったと思います。あさぎは三月二日から、もえぎは四月二十日

# 青葉通信

## 第24号

発行  
社会福祉法人  
中日新聞社会事業団  
中日青葉学園  
電話 0561(72)0134

## 青葉分校 地鎮祭

日進中学校、日進北小学校の青葉分校の特別教室が入る学習棟(第二学習棟)の増築工事の地鎮祭が十一月三十日に現地で行われました。木造二階建て延べ床面積三二四・五平方メートル。令和二年五月に完成する予定です。



## 宮田典幸さんを偲んで (五十七歳)

宮田さんの経歴は、華々しいものでした。愛知高等学校時代は高校野球で甲子園に出場した経験もあり、亜細亜大学に進学して野球で活躍し、スポーツメーカーに就職しました。しかし、転職は突然訪れました。三代前平、がんが見つかり、大手術を受けて一命をとりとめたのです。その後、愛知県に戻り日本福祉大学中央福祉専門学校で福祉を学び直し、老人・児童の福祉経験を重ね、平成十三年十月から中日青葉学園で、即戦力として働き始めました。野球の経験を生かし、部活動のソフトボール指導では特に秀でていました。実直な人柄で誰からも慕われ、平成十五年のわかば館スタート後も縁

の下の力持ち的存在で、なくてはならない人でした。同僚の兼山俊子さんと結婚し、幸せな家庭を築きました。しかし、平成二十九年九月にがんが再発し、またまた大手術を乗り越えて一度は再起を果たしましたが、令和元年五月十三日に帰らぬ人となりました。五十七歳でした。通夜や葬儀には卒園生や退職職員も多数弔問に訪れ、人望の厚さがうかがわれました。まだまだこれからという時にお亡くなりになってしまい、大変残念ですが、その足跡は中日青葉学園に永遠に残ります。いつまでも天国から中日青葉学園の「歩み」を応援し続けていてください。宮田典幸さん、本当にご苦労さまでした。

(わかば館館長 寺井陽二)



多くの方々から、寄付、招待をいただきました。令和元年に支援いただいた方のお名前を紹介させていただきます。匿名での善意もいただきました。ありがとうございました。

(敬称略、順不動)

島中智之、東郷町の伊達直人、河井道子、寿し正、柴田幸子、マツオケント、中部善意銀行、日本ゼネラルフード、カープスジャパン、日進市更生保護女性会、神野徹、NOYES、ダスカジャパンクアウテモツク、JA伊勢、神野徹、愛知トヨタ自動車、慈眼寺、都築、東海アイスクリーム協会、洞泉寺、田中尚己、愛知県信用農協連合会、親子文化を育てる会(もの木保育園)、ユニー(諭吉のからあげ)、大島勇美、親切会中部支部、松野恵、廣田荘之輔、近藤産興、中日新聞東刈谷専売店(角岡新聞店)、中日新聞岩崎専売店、コカ・コーラボトリスジャパン、サイトウヒロミ、中日新聞各販売店(中日新聞スプリングキャンペーン協賛)、野々山商事、名古屋トヨペット、電通中部支社顧客プロモーションデザイン部、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、慶昌院、オーケランド観光開発、匿名、コストコ、カルビー、朝日住宅、十六銀行、丸大産業、全国シヤメリー協同組合、村松泰平税理士事務所、文屋(木下豊)、澤出勝則、廣田智美、名糖産業、愛知中央ライオンズ、チユチュアンナ、Touch Me(梶川直樹)、中川区倫理法人会、中原哲郎、冬花火実行委員会、ミタカ運輸、安田慎市、こどもハートクラブ、大森石谷由美子、中日ネクスト、丸新舎、中日サービス、大日本印刷、兼松エレクトロニクス、中日制作センター、ヴァリダックス、中日高速オフセット印刷、中日オフセット印刷、中部日本ビルディング、産通、共生印刷、中日エージェンシー、中日アド企画、中日シヨッパー、中日企業、中日興業、西尾中日サービスセンター、中日折込

室の一〇LDK+aとしました。次にリフォームを考えたのは、平成三十年度です。国は、児童養護施設の小規模化の推進を求めており、あおば館は順次進めています。一方、児童心理治療施設に対しては、施設の小規模化を具体的に明示していません。わかば館を小規模化して定員を減らすことはできません。リフォームの時期を迎え、施設を小規模化し定員を減らすことはできないまでも、個室を増やしたいと考え、あさぎ・もえぎの子どもは、あさぎ・もえぎの子どもはそれぞれ個室(一人部屋)を大幅に増やしたり、二人部屋を二室から十室に増やしました。結果、一人部屋は十室、二人部屋は四室の一四LDK+aとなり、定員を十八人としました。次にあさぎ(男子ホーム)のリフォームを平成三十一年三月〜四月に行い、一人部屋を二室から九室に増やしました。全体では、一人部屋が九室、二人部屋が四室の一三LDK+aで定員十七人となりました。総数は三十五人で変わりありません。あさぎは三月二日から、もえぎは四月二十日

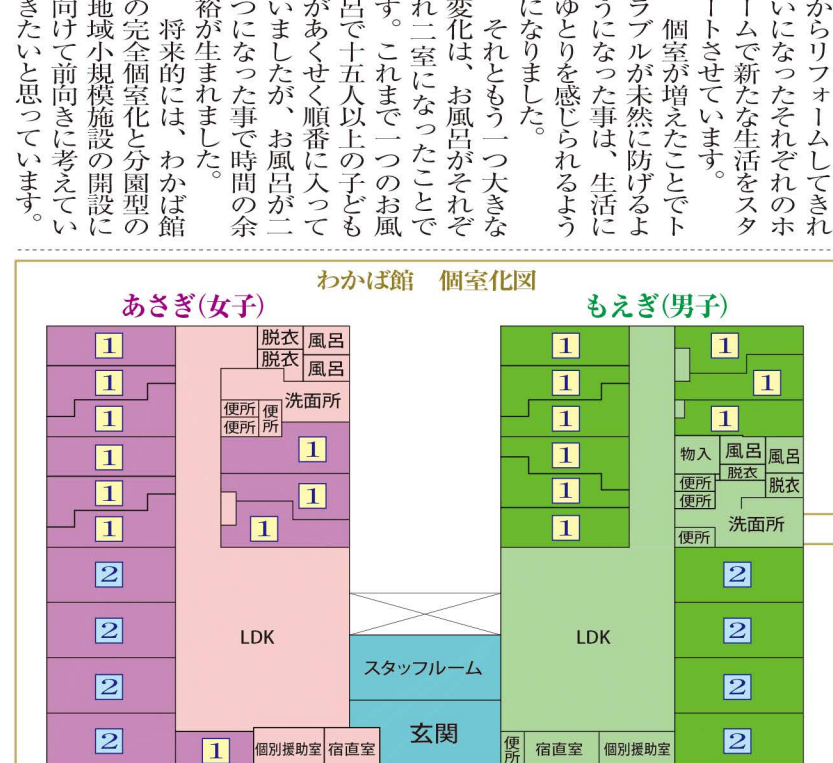


### 中日青葉学園 理念 「和」

人の輪を広げ、豊かな心を育て、未来に向けて子どもと共に歩み、地域福祉の向上に貢献します。

#### 方針

- 1 家庭的なホーム生活を通じ、子どもたちの情緒の安定を図り、安全で安心できる生活を提供します。
- 2 スポーツ・文化活動を通じ、仲間との連帯感、心身の健康、豊かな心、忍耐力を育みます。
- 3 児童の権利擁護に努め、子どもたちの言葉に耳を傾け、社会的な責任と自分たちの権利、義務について共に考え、自立を支援します。
- 4 地域との交流を深め、地域の子育て支援・ボランティア支援の役割を担い、地域に開かれた参加型の施設を目指します。
- 5 外部の専門機関との連携を深め、子どもたちにとって、より良い支援を行います。
- 6 「子どもの最善の利益」を念頭に、職員の教育・研修を行い、自己研鑽に努めます。



わかば館の居室の多くが個室化され、子どもたちは集団生活の中でトラブルがあった場合でも、居室で一人になって心を落ち着かせることができるようになりました。部活動で特に印象深かったのは、フットサル大会中高生の部でのあおば館の優勝です。前年に続き、初戦で敗れましたが、元年は敗者復活戦を戦い抜いて頂上に立ちました。ピンチでもあせらず、落ち着いてボールを回して得点した光景から、子どもたちの心の成長を実感しました。(S・H)

### 平成30年度 予算

あおば館 (単位:円)		わかば館 (単位:円)	
収入の部	支出の部	収入の部	支出の部
1. 措置費 212,835,000	1. 人件費 159,075,000	1. 措置費 192,649,000	1. 人件費 156,875,000
2. 補助金 10,717,000	2. 事務費 20,296,000	2. 補助金 11,503,000	2. 事務費 18,168,000
3. 寄附金 2,700,000	3. 事業費 49,980,000	3. 寄附金 2,100,000	3. 事業費 32,476,000
4. 雑収入 2,500,000	4. 建物取得支出 0	4. 雑収入 1,200,000	4. 建物取得支出 35,000,000
5. 利息配当 1,000	5. 器具備品取得支出 0	5. 利息配当 1,000	5. 器具備品取得支出 0
6. 繰入金 3,000,000	6. 構築物取得支出 0	6. 繰入金 37,000,000	6. 構築物取得支出 0
7. 子育て支援事業 275,000	7. リース債務返済額 843,000	7. 積立資産取崩 0	7. リース債務返済額 652,000
8. 積立資産取崩 0	8. 利用者等外給費支出 1,834,000	8. 積立資産取崩 0	8. 利用者等外給費支出 1,282,000
合計 232,028,000	合計 232,028,000	合計 244,453,000	合計 244,453,000

### 平成30年度 決算

あおば館 (単位:円)		わかば館 (単位:円)	
収入の部	支出の部	収入の部	支出の部
1. 措置費 229,613,055	1. 人件費 162,966,694	1. 措置費 205,373,326	1. 人件費 155,046,562
2. 補助金 9,235,410	2. 事務費 19,446,547	2. 補助金 13,008,910	2. 事務費 18,095,544
3. 寄附金 6,077,800	3. 事業費 48,091,879	3. 寄附金 3,573,100	3. 事業費 31,554,588
4. 雑収入 2,131,748	4. 固定資産取得 1,859,720	4. 雑収入 1,205,784	4. 固定資産取得 59,042,949
5. 利息配当 740	5. リース債務支出 843,528	5. 利息配当 621	5. 利用者等外給費 1,908,410
6. 繰入金 10,560,000	6. 積立資産支出 48,000,000	6. 繰入金 66,000,000	6. リース債務返済額 650,760
	7. 利用者等外給費支出 1,813,410		7. 積立資産支出 36,000,000
合計 257,618,753	合計 283,021,778	合計 289,161,741	合計 302,298,813

社会福祉法人中日新聞社会事業団 〒460-8511 名古屋市中区三の丸1-6-1 中日新聞社1階  
電話 052(221)0580 ファクス 052(221)0839  
中日青葉学園 〒470-0131 愛知県日進市岩崎町ノ山149-164  
児童養護施設「あおば館」 電話 0561(72)0134 ファクス 0561(74)2315  
児童心理治療施設「わかば館」 電話 0561(74)7752 ファクス 0561(72)5757

# 里親に寄り添って

里親支援専門相談員 山本由美子



何らかの理由で両親と一緒に暮らすことができない子どもを育てる環境として、国は、家庭環境である里親を最優先に位置付けています。施設は、里親と連携して支援することが求められています。

その調整の役割は、児童相談所が担っています。が、愛知県では、乳幼児、児童養護施設に里親支援専門相談員を配置して、児童相談所の里親担当職員、里親委託等推進員や、里親会などと連携して、施設の子どもの里親委託を進めたり、里親が集まって話をする「里親サロン」を開催したり、委託後訪問などを通じて、里親支援をしています。



店舗でブースを設けての里親啓発活動

また、里親のことを知ってもらう啓発活動などもしています。里親支援専門相談員は、令和元年度は、県内十児童相談所管内に一施設ずつ、計十施設に配置されています。青葉学園は平成三十年度に配置されました。

里親は、登録してからいつになったら縁があるのか、電話が鳴るたびにドキドキしながら楽しみに日々を過ごすといいますが、委託が決まった時に見せるうれしそうな笑顔に、私も一緒に幸せな気持ちになります。

里親宅に委託される子どもは、親と離れて心に傷を負っていることも多く、子どもたちが抱える問題に、施設では複数の専門職が関わって対応しますが、里親宅では、委託直後から夫婦だけの子育てになりがちです。現実には次々に起こる「試し行動」などの困りごとに「理想の子育てができない」と悩み、「自分の対応も始まりませんでした。

啓発活動をしていると、まだ里親について知らない人が多く、驚かれることも多い現状です。令和元年度からは、支援のお手伝いをする「サポーター事業」という試みも始まりました。

子どもが家庭で育つことで、里親から変わらぬ愛情を感じ、大人に対して信頼を持てるようになってくれると信じています。

里親支援専門相談員として、児童相談所、施設、里親のパイプ役となつて、子どもにとって安心できる質のよい養育と何かを考え、そのための細やかな支援をして、里親家庭を応援していきたいと思っています。

（里親支援専門相談員 山本由美子）

## 人事異動

【採用】4月1日  
あおば館保育士小野田有加、わかば館児童指導員中島愛基、わかば館保育士曾我衛、調理員次呂久好美

【非常勤職員】わかば館児童指導員加藤広大、同心理士富田未優、▽精神科医・羽塚康子▽小児科医・福島俊郎

【異動】4月1日  
あおば館副館長兼指導員部長 高嵩孝一▽家庭支援専門員（法人本部職員）あおば館 林美歩

【死亡退職】5月13日  
わかば館主任 宮田典幸



次呂久好美 曾我衛 中島愛基 小野田有加

令和元年度  
表彰  
永年勤続表彰  
二十年 高嵩孝一  
指導員部長▽十五年 園原基治事務課長 伊藤洋一わかば館指導員部長、竜栄貴あおば館係長、▽五年 宮地拓朗あおば館児童指導員、横井佑太わかば館心理士

## 2019(令和元)年 主な学園関係の行事

1月	1日 白山宮初詣
	14日 BOYS AND MEN 招待
	19日 伊那スキー村
	26日 スターターセミナー
2月	1月3日 わかば館個室化工事（あさぎ）
	3日 寿し正 東方巻き寄贈
	施設長会親善マラソン大会、旅立ちセミナー
3月	11日 テーブルマナー教室
	1日 高校卒業式
4月	2・3日 デイスニーランド招待（あおば）
	16・17日 USJ 招待（わかば）
	23日 菓立ちの会
5月	3月4月 わかば館個室化工事（もえぎ）
	9日 らあめん訪問
6月	27・5月5日 GW イベント行事 外出
	15日 職員研修（福井県一陽視察）
	12日 職員研修（福井県一陽視察）
	15日 尺八招待
7月	22日 中日青葉学園見学会
	13日 中日森友隊の伐採
	15日 相撲招待
8月	20日 狂言招待
	7日 ユーリカ演劇招待（アマノ招待）
	26日 老人ホーム和太鼓慰問
9月	14日 ルーキーズ企業展
10月	5日 焼肉訪問
	26日 青葉交流会
11月	9日 USJ 招待
	17日 音楽の集い
	21日 七五三（白山宮）
	23日 紙飛行機大会
	27・29日 全養協徳島大会
	30日 分校地鎮祭
12月	7日 クリスマスマスリース教室
	14日 中日森友隊の伐採
	21日 花火招待・アラジン招待
	22日 スケート招待
	23日 クリスマスマス会
	25日 フットサル大会

# 行事を楽しみ、部活動で活躍

## 行事

元年度は、子どもたちが楽しめるように、そして地域の方々に学園を知っていただき、学園が地域に貢献できるように、さまざまな催しや、イベントを行いました。六月には、就職やボランティアなどで学園を知りたいと考える大学生を対象とした「学園見学会」を開催。十月恒例の「青葉祭り」は元年度は中止し、代わって、地域の方々の協力を得て、子どもたちが楽しむことができる催しとして「青葉交流会」を開催しました。

夏の目的別活動では、あおば館、わかば館に分かれて、川でラフティングを楽しんだり、海水浴や無人島探検をしたり、サファリパークなどに出かけました。



青葉交流会で本棚作りに取り組み子どもたち



ラフティングを楽しむ子どもたち

## 部活動

令和元年度は、部活動で子どもたちが頑張りと、施設長会主催の大会で成果をあげました。フットサル大会は、中高生男子の部であおば館チームが優勝、卓球大会ではあおば館が団体戦二位、中高生女子の個人戦では、竹本未夕さん（高一）が優勝しました。

あおば館の小規模化の流れで子どもの数が少なくなり、両館の子どもと一緒に練習する機会が増



フットサル大会優勝

## フットサル大会 優勝

十二月二十五日に、名古屋市長区武田テオアリーナで行われた施設長会主催のフットサル大会の中高生男子の部で、あおば館チームが見事、優勝しました。



卓球中高生個人女子で優勝した竹本未夕さん

## 音楽の集い 披露

十一月十七日に豊川市文化会館で開かれた第四十一回音楽の集い豊川大会には、器楽演奏と和太鼓で出場しました。器楽では、あおば館はバックナンパの「大不正解」、わかば館はDOESの「曇天」を演奏しました。ともに、人気漫画「銀魂」の実写版とアニメ版のテーマ曲で、子どもたちは大人気の曲です。

## 和太鼓

和太鼓クラブ「鼓太舞（こだま）」は、あおば、わかば両館合同で三十人の子どもが出演。「楽（らく）」と「清流のほり打ち」の二曲を披露しました。清流のほり打ちは、川を遡上するアユのように、打ち手が十台の太鼓を移動しながら打つダイナミックな曲で、取り組んでまだ二年目ですが、子どもたちは連携をとりながら響く音を味わっていました。



優勝旗を手にするあおば館の中高生

